

令和6年度 長南小学校学校評価アンケート結果について

※アンケート結果グラフ、保護者意見は、ホームページに掲載します。

【学校教育目標】

「ふるさとを愛し、心豊かでたくましく、確かな学力を身につけた児童の育成」

- ・重点目標1 確かな学力の育成（学びづくり）

学習指導の質的向上・情報教育の推進と学校図書館の効果的な活用・研究や研修の充実

- ・重点目標2 豊かな心の育成（心づくり）

生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実、道徳教育・特別活動の充実、教育環境の整備

- ・重点目標3 健康でたくましい体の育成（体づくり）

体育・健康・安全教育の推進

- ・重点目標4 保護者・地域から信頼される学校づくり（ふるさとづくり）

人と地域のつながりを大切にした、ふるさと長南のよさを実感する教育（郷育）

学校・家庭・地域等との連携、幼・保・小の連携と小中一貫教育の充実

【学校経営の重点】

- ・教職員の授業改善と指導力の向上
- ・学習に向かえる環境づくりの推進
- ・地域や保護者の期待と信頼に応える学校づくり
- ・業務改善と働き方改革の推進

☆保護者・児童・職員アンケートの全体的な比較

アンケートの質問 80%以上肯定的評価の項目数

R5 保護者：16/21 R5 児童：15/21 R5 職員：19/21

R6 保護者：16/22 R6 児童：16/22 R6 職員：20/22

※昨年度と比較して、80%を超える肯定的評価の項目は同程度

アンケートの質問 肯定的評価の上位3項目、下位3項目

	保護者	児童	職員
上位3項目	<ul style="list-style-type: none">・小中連携 94.3%・安全や健康への配慮 92.6%・わかる授業 92.0%	<ul style="list-style-type: none">・わかりやすい情報伝達 95.9%・ともだちへの思いやり 93.6%・ちがいを認め合い互いを大切に 93.6%	<ul style="list-style-type: none">・いじめ根絶への相談 100%・ともだちへの思いやり、ていねいな教育相談 100%・いじめを許さない、安全や健康への配慮、わかりやすい情報伝達 100%
下位3項目	<ul style="list-style-type: none">・読書活動 54.0%・最後まで課題に取組む 54.0%・大きな声のあいさつ 72.2%	<ul style="list-style-type: none">・読書活動 68.0%・教育方針・活動の伝承 68.5%・大きな声のあいさつ 71.7%	<ul style="list-style-type: none">・読書活動 75.0%・運動に親しむ態度 75.0%・ICTによる学習意欲 81.3%

【共通した評価結果の項目】

○心づくりに関する項目は、保護者・児童・職員とも高い。

○わかる授業、わかりやすい情報伝達、小中連携も同様である。

●読書活動の充実には、課題を残している。

【自己評価 児童・保護者・職員アンケートの回答を受けて】

○本年度よりWEB回答を取り入れたことで、回答率は76.5%であったが、日々の学校教育活動に対する理解と協力は大きい。

○地域との交流活動に理解を示してくださり、ボランティア活動にも積極的に参加してくださる保護者が多い。

○英語の授業、学習での丁寧な指導への肯定的評価は、保護者・児童とともに昨年度より評価が高くなっている。新しい評価項目である小中連携についても、評価が高かった。

△家庭学習、規則正しい生活、体力向上への取り組みについては、児童の評価は上がったが、保護者・職員の評価はやや下がった。取組を共有し、成果を高めていく。

- 昨年度と比較し、全体的に保護者からの肯定的な回答がやや減っている、または同程度である。Web回答についての周知を丁寧に行う必要がある。
- 読書活動については、今年も評価が低い。全校で読書指導を工夫していく必要がある。
- 大きな声の挨拶、最後まで課題に取り組む態度の育成、運動に親しむ態度は、今後の教育活動の課題である。日々の指導を充実させていく必要がある。
- 自由記述の部分では、様々な要望や意見、感謝の言葉をいただいた。意見を真摯に受け止めて改善を図っていきたい。

☆来年度に向けて

◎重点目標1 確かな学力の育成【学びづくり】に向けて

- ・今後も計画的に校内研修を充実させ、学力検査等の結果を踏まえた授業改善を実践し、ICT機器をより効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを取り入れながら、丁寧な指導を心がけた分かる授業づくりに努めています。
- ・授業での学習内容の定着と家庭学習の習慣づけを意識した宿題の工夫を行い、家庭学習強化週間や自主学習ノートなどをより推進していき、保護者との連携を強めながら家庭学習の充実に継続的に努めています。
- ・話を聞く態度などの学習規律の定着と、学習用具の準備などの学習習慣の育成を、家庭と連携しながら図っていきます。
- ・教材研究に励み、児童把握と授業技術の向上を図っていき、児童が主体的に学習に向かい、最後まで課題に根気強く取り組む態度を育てます。
- ・読み聞かせを継続し、全校で読書の時間を確保し、読書カードの活用や調べ学習への利用、本の紹介コーナー設置などにより、読書活動の充実を目指します。

◎重点目標2 豊かな心の育成【心づくり】に向けて

- ・「いじめを絶対に許さない」積極的な生徒指導を日々継続して推進し、学期毎や長期休業前後の教育相談やSOSサインの出し方の指導などを行い、児童一人一人を理解し、困ったことや悩みを教師に相談しやすい環境づくりに心がけ、教育相談をより充実させていきます。研修により職員の教育相談の技術の向上にも努めます。
- ・色々な教育活動で、様々な立場の人とコミュニケーションをとり支え合う活動場面を積極的に取り入れ、友達と協力して取り組む活動をとおして児童間の相互理解を深め、児童の思いやりや助けあいの心をさらに育んでいます。
- ・道徳の授業や特別活動を充実させ、日常生活に生きる道徳指導を工夫し、異年齢集団による活動・体験や外部人材等を活用した人権教育を計画的に実践していきます。
- ・礼儀正しく明るい校内の言語環境を整備し、日常的な取り組みとして、職員から児童、児童から児童への率先した声かけや、挨拶のルール（あかるく・いつでも・さきに・つづけて）の定期的な確認、登下校時の指導やあいさつ運動などを行い、挨拶の励行を強化していきます。

◎重点目標3 健康でたくましい体の育成【体づくり】に向けて

- ・体力の向上と心身の健康保持を目指した計画的・継続的な体力づくりに向け、マラソンや縄跳びだけでなく、休み時間の外遊びを常時奨励するとともに、体育科授業の改善や教材教具の工夫、学習カードの活用など、運動に親しむための教育環境の充実を進めています。
- ・児童への安全指導を定期的に行い、計画的な避難訓練を実施して児童の危機回避能力を高め、安全で安心な学校生活を過ごせる力を育成していきます。
- ・保護者や地域とより積極的に関わり、校内の安全点検や環境整備、児童相互の良好な関係づくりに常時努め、安全安心な学校づくりを行っていきます。
- ・家庭や地域と連携して、早寝・早起き・朝ご飯などをはじめ、健康課題への適切な対応を積極的に行い、食育を重視した給食指導を推進していきます。

◎重点目標4 保護者・地域から信頼される学校づくり【ふるさとづくり】に向けて

- ・ふるさと学習を継続し、自分たちが生活している町を理解する教育を充実させます。
- ・地域ボランティアとの連携をより強め、ふるさとの素晴らしさに気づき、町を愛する心の育成に継続して取り組んでいきます。
- ・PTAや地域の方々へ積極的に教育活動を公開し、学校の教育実践を広く理解して

いただき、協力を得るための情報発信を推進していきます。

- ・幼・保・小間の交流を充実させ、小・中間の相互授業参観と児童・生徒の交流を積極的に実施していきます。
- ・年間の学校行事を見直し、児童の成長に必要な行事を精選して実施していきます。
- ・町教育委員会と連携し、学校の業務改善と職員の働き方改革を推進するための取り組みを実施していきます。（保護者文書のWEB活用、短縮日課実施など）

☆学校運営協議会より（学校関係者評価）

2024.2.14

◎重点目標1：学びづくりについて

- ・工夫された授業により楽しく学習しているようだ。
- ・ICT、英語、体験的な学習など多様な活動に意欲的に取り組まれていることに、敬意を表す。「自分で調べて・・・」の項目がやや低いようだ。「少人数」の長所を生かして児童個々の特徴を把握し、声かけや個別の指導を通して改善を図るよう努力をお願いする。
- ・ICT活用力機器による情報提供・共有等を図り、ユニバーサルデザインに基づく授業作りなど高度化された学力育成に励んでいることは見受けられるが、温故知新による学力醸成にも力を注いで欲しい感がする。
- ・皆タブレットを使い、授業を受けていて、これから時代は、ほとんどICT化していくので、児童達は幸せだと思う。
- ・以前に比べると学力が上がったと感じる。
- ・勉強が楽しいときもあるはずだ。（以前は勉強嫌いだった）
- ・先生方が工夫して楽しみながら勉強が出来ている様だ。
- ・地域とのつながりが多くあり（地域性もあるかもしれないが）、自然と世代間交流があって子どもたちにとっては、良い学びになっていると思う。また、長南っ子は個性のある子が多いなと感じる。
- ・読み聞かせボランティアの方々には、今後の活動として、本の紹介コーナーの設置や調べ学習の補助などをしてもらってはいかがだろうか。
- ・読書について、少なくともこの2年間、地域学校協働活動として、図書整理をやらなかった。読み聞かせボランティアをはじめ、本が好きなボランティアさんの力を借りて、図書整理、本の購入、ポップ作りなど行い、児童が読書に興味を持つ工夫をしていきたい。

◎重点目標2：心づくりについて

- ・全体的に好評価である。「素直でよい子」と安心しがちだが、児童一人ひとりに目標を持たせ、受身的態度から主体的・能動的な態度の育成に努めてほしい。
- ・豊かな心の育成には、他者への気遣いと愛の醸成が必須と思われる。いじめ等の横行も自身に跳ね返ってきたときの悲しさ・苦痛等感情の共有が必用と思われる所以、その辺りの教育方法等実践はされているとは思うが、より一層の教育を望む。
- ・特に現在の若い世代による闇バイト事件を鑑みると、「こんなことを起こすような子ではなかった！」などの親族の悲痛な叫びを聞くと、現代の教育の歪みが、どの時代で何故発生したのか十分検証したなかで子供への情操教育に力を注いでいただきたい認識である。
- ・児童に対する周りからのアプローチはしっかりと行われているようだ。気になるのは何でも他人に相談し解決しようとする方向性。一人で生きていくためには、世の中の矛盾や不合理があることを理解し、心を強くする教育も必要な気がする。
- ・いじめなど発生した場合、迅速な対応が出来ていると思う。
- ・引き続き、いじめなどが発生しない学校生活、心のケアをお願いする。
- ・上級生が若年者を見るのが自然と出来ていて、長南小の子どもたちは思いやりのある子が多いと感じる。
- ・あいさつは家庭からである。粘り強く取り組んでほしい。
- ・学校にボランティアさんに入っていただくと、子どもたちが地域の活動に参加するなどして、地域の方々との交流を広げることが大事だと思う。
- ・地域の高齢の方達と関わる機会が多いので、心の育成にも繋がっているように思える。

◎重点目標3：体づくりについて

- ・児童・保護者・職員の3者が4項目について評価している。（合計12）
令和5年度との比較では、下がったが8、令和4年度との比較では、下がったが11でほぼ全てで下がっている。スポーツテストの結果はどうか。改善策の検討をお願いする。
- ・現代の各種パンデミックの流行や激しい気候変動などの環境変化に充分対応できる元気で明るい体力づくりに今後も励んで欲しい。
- ・尚且つ前項で提言されている元気で明るく優しい「心づくり」を兼ね備えた育成に頑張っていただきたい。
- ・登下校はバスや送迎、家に帰ったらゲームと…、体を動かす機械がほとんど無いので、例えば、放課後子供教室を増やして定期的に行うのも、一つの方法だと思う。
- ・バス通学や家庭の送迎が多いので、体力づくりは工夫して体育の他にもやっていった方が良いと思う。
- ・部活がなくなり、運動をする機会が減っていると感じる。
- ・バスや自家用車で登校する子がほとんどなので、少し心配。
- ・朝や放課後、校庭で遊ぶ子が減っているような気がする。
- ・期間限定のマラソンの実施や縄跳びの実施ではなく、継続した取組が必要かと思う。マラソン納会の様子を見ても二極化で、走れる、走れないとなっている。
- ・環境整備（ジャンピングボードを新しくする、ネットに貼ってある投げ数字板の補修等）

◎重点目標4：ふるさとづくりについて

- ・過疎化が進み人口減。児童数も減少し小集団になると、子どもたちも自信をなくし、気持ちが内向きになりがちである。町の大人との交流の場面を設けたり、歴史・文化などを学んだりすることで、ふるさと長南への理解はもとより、愛着・誇りの域まで意識が高まり、自己肯定感を備えた自信のある子どもが育つものと思う。小中を通した計画と心を込めた実践をお願いする。
- ・コーディネーターやボランティアの努力、活躍は素晴らしいと思う。
- ・ふるさと学習は、教科書が無く（小3以外は）、手間のかかる学習ですが、町としては切実な課題です。先生方には、長南町の願いをご理解いただくようお願いする。
- ・この教育目標における地域から信頼される学校づくりは特に重要と思われる。現在の少子高齢化は私自身が勤めている所でも後継者問題が浮上し、地域おこし協力隊など移住者の協力を得てはいるが、今育っている地域に根付き、これからもこの地域で育ち盛り上げていけるようなお子さんを育成してほしい。
- ・保護者からの信頼は当然必要ではあるが、今現在、当小学校にはモンスターペアレント的な保護者が居るとは思わないが、教職員が余りにも保護者に忖度するような学校にならないことを願う。今後も教職員は確固たる信念と聖職者としての自負と自覚を持った対応を図っていただきたい。
- ・「ふるさと長南が好き」と回答する児童が9割近くもいるのは嬉しい。さらに、100%に近づけるよう、ふるさと学習を充実させたい。
- ・ボランティアの協力もあり、よくやっていると思う。
- ・多くのボランティア、地域ボランティア等が子どもたちに関わってくださっているので、継続してほしい。
- ・ボランティアなどのサポートがあり、地域で学校を支えていきたいと思う、
- ・私は比較的学校へ出入りさせてもらっているので、学校は“ふるさとづくり”に取り組んでくださっているのを体感している。あまり参加されていない方々の興味・関心はわからないが、中学校での賛助会費集金も、地域の方々は好意的に協力してくださっていることから、学校に対する地域からの信頼度は高いと思う。
- ・小学校側ががんばってくれていても、保護者との温度差があると少し感じてしまった。（アンケート内容）今のご時世なので仕方のない事かもしれない。
- ・小学校がリードする幼・保・小の連携活動を積極的に取り組んでほしい。

◎その他

- ・少人数になると行動はこぢんまり、気持ちは内向きになりがちである。「児童一人ひとりに目標や課題を持たせる」「地域・団体などと連携する」「幼・中と連携する」「他校と連携する」など刺激を与え、子どもたちの目がキラキラするような仕掛けをお願いする。
- ・2／14の会議で、ある委員から「職員の高評価」についての感想意見があった。教育府評価は規準が難しく主観的になりがちである。高評価は、先生方の教育に熱心な気持ちは表れと理解します。
- ・学校評価は、児童・保護者からは他者評価、先生方にとっては自己評価の側面が強いと思う。また、自己評価は、「評価の中で一番難しい」と言われます。評価項目の点数に一喜一憂するのではなく、その数字の原因や今後の指導法の樹立などに生かされるようお願いする。
- ・特にならないが、当該学校評価資料の丁寧さと緻密さに敬意を表する。
- ・先生方は、大変忙しい中頑張っていらっしゃって、頭が下がる思いである。授業や行事など、つながる～むやボランティアさんをうまく活用して、少しでも負担を減らしていただきたい。先生が「楽しい」と思える学校づくりを、先生方が楽しんで子どもたちに伝えていければ、と思う。

☆保護者の主なご意見・ご要望

※○ご意見 ◎要望 ●批評

- いつもありがとうございます。
- よくやってくれていると思う。
- 特に問題なしです。
- みんなが仲良く過ごせるように、これからもお願いします。
- ふるさと学習発表会、生け花体験など色々な経験させていただきました。
- いつもお世話になっております。先生方のおかげで、楽しく学校生活を送らせていただけています。ありがとうございます。今後も宜しくお願いいたします。
- いつも大変お世話になっております。担任の先生にも大変良くご面倒をみていただき、保護者としても大変うれしく、また、安心感をもって登校させることができます。これからもよろしくお願いいたします。
- 先生方のおかげで、楽しく学校生活を送らせていただけています。ありがとうございます！今後も宜しくお願いいたします。
- 子供に何か些細な事が起きた時でも、電話や連絡帳で知らせてくれるのでとても助かります。
- 先生方がよくこどもたちのことをみてくれていると感じます。
- 毎日、子どもたちの対応を丁寧にしていただきありがとうございます。
- 熱心に取り組んでくださりありがとうございます。
- これからも積極的に家庭と子供と密に活動していただきたい。
- 楽しく通えているようですので、引き続きご指導の程よろしくお願いします。
- 権利ばかりを主張する親が増え、先生方は本当に大変だと思います。どうぞお身体に気をつけて御励み下さい。
- いつもご指導ありがとうございます。おかげで、子どもは毎日楽しく学校に通っています。
- いつもありがとうございます。クラスの人数が多いので、学者レベルの差がどうしてもでてしまうと思うので、ついていけるか少し心配しています。
- 担任の先生は親身になり、よく話を聞いてくれていました。療養に入ると連絡がありましたが、大丈夫なのでしょうか。復帰されることを望んでおります。
- 毎日、丁寧に子どもたちの対応をしていただきありがとうございます。対応をし、日々、子どもたちへのご指導ありがとうございます。我が家は、ほぼ私一人での育児なので手が回らない事が多く、その中で先生方や指導に携わってくれている方から子どもへ教えていただくことも多く感謝するばかりです。本当にありがとうございます。
- いつもお世話になっており、ありがとうございます。日頃より学習面、生活面においてご配慮して頂き、感謝しています。また、丁寧にご指導して頂き、本当に感謝しています。今後とも、ご指導の程、よろしくお願い致します。
- ◎一年生の時より学力が低下しているようで気になっている。（生活面だけでなく学習面についてもお子様のことで気になることは学校へご相談ください）
- ◎運動が苦手な子のフォローをして欲しい。（体を動かし健やかな成長ができるよう配慮していきます）
- ◎手紙をアプリの配信にしてほしい。（町教育委員会と検討していきます）
- ◎コドモンを導入して頂けると家族間の情報共有が出来るのでいいなと思います。（町教育委員会と検討していきます）
- ◎まず、アンケートの選択肢に「わからない」という選択肢を増やして欲しいです。答えづらい設問がいくつありました。
- ◎アンケートの回答ですが中には A～D に該当しない項目もありますが回答しないと送信出来なかったのでアンケート回答について改善があると思います。（「わからない」という回答は、その項目内容が保護者に知らされていない、理解されていないということだと受け止めております。次年度は、質問の回答で「わからない」という項目については、「無回答」でも送信できるように初期設定を変更します。ご指摘ありがとうございます）
- ◎どのクラスに何人だとか流行している病気などをメールで配信していただけると病院

に受診するときに答えやすかったりする。

◎学校で出ている感染症について保護者にも情報を流してほしい。学校からの情報がないせいで危機感なく生活をしてしまい学級閉鎖になってしまいます。

◎感染症が学校で出たら保護者にも知らせてほしい。感染拡大に家庭でも気をつけたいです。（現在本校では、特定の感染症罹患者が1学級内で15%を超えるほど増加してきた場合は（例：20人学級ならば3人を超えた時点で）、注意喚起のお手紙やメールを配信し、感染予防への協力を願いすることにしております。また、感染症による学級閉鎖をする場合は、感染症の拡大を防止するため、罹患者以外の学級児童の健康状況も考慮し、学校医とも相談して町教育委員会の助言をもとに、校長が判断しております。）

◎パソコン、タブレットをもう少し多く活用していただきたいです。（ICT機器を利活用し、わかる授業づくりに努めてまいります）

◎先生方の負担が増えないよう、外注でも良いと思うので、もっとスポーツなどの部活動の種類があると良いと思います。

◎部活がなくクラブチームに入団しないとスポーツに触れることができない環境で不安を感じる。

◎親の帰りが遅く、近隣に同学年の友人がいない子は、放課後児童クラブに通うしか、放課後に子供たち同士で遊んだり学んだりする事ができません。先生方もとてもお忙しいと思うのですが、部活動などの種類を充実させていただき、高学年の放課後を有意義に過ごせるよう協力を願いだと嬉しいです。（学校の「働き方改革」の一環として、職員の勤務時間削減と業務改善のため、放課後の部活動を縮小しました。ご希望の件については現状では難しい状況です。改善点があれば学校へお知らせください。）

◎中学校敷地内に小学校があるためか、中学校側との間に多少溝があるというのを聞いたことがあります。実際の状況は分かりませんが同じ敷地内で学んでいる児童同士なので、そういった噂が子供達には届かないようにしてほしいです。（中学校併設型小学校として、小中の連携と相互理解を深めていきたいと考えております）

◎子供同士のトラブルはできるだけ子供同士で話し合い、納得して解決するようにしてほしい。（児童の発達段階を考慮しながら生徒指導をしていきます）

◎近場だけではなく、県をまたいだ遠足も時には必要な気がします。

◎宿泊学習や校外学習がもう少し遠方ならいいのにと思います。（本校の教育計画に基づき、児童の学習に必要な活動を「校外学習」や「修学旅行」、「宿泊学習」として行っています。現状、県外の活動は6年生の「東京家政大学見学及び国会見学」と「修学旅行」のみとなっております）

◎オープンスクールを増やして欲しいです。（次年度は、4月の授業参観と10月のオープンスクールを計画しております。その他の機会で授業の参観をご希望の場合は、事前に学校に申し出ていただければ、授業の参観ができるようにしていきたいと思います。お気軽にご相談ください。但し、行事等の都合によりご希望に添えない場合もあります）

◎もっと校庭に遊具があればいいのにと思います。（現状では難しい状況です。よいお考えがあれば学校へお知らせください。町教育委員会と協議します）

◎小学校中学校が同一敷地内ということを活かして、連携して何かできたらいいなと思っています。地域のことを深く理解することは将来の担い手不足の課題解決のためには必要なことだと思うので、地域交流は絶えず続けてほしいと願っています。（「ふるさと学習」の充実に努めてまいります）

◎図書の充実（読書活動の充実に努めてまいります）

◎通学バスの時間見直しをお願いします。（現状では難しい状況です。よいお考えがあれば学校へお知らせください。町教育委員会と協議します）

◎家庭学習強化週間、低学年と高学年の活用法は変更の余地があると思う。（学校内で検討し、充実した取り組みになるようにしてまいります）

◎いじめというものを、子供達が具体的に理解できているのか、よくわかりません。学校生活の中で、どんな状況が「いじめ」に該当するのか、話し合う機会があったらよいのではないかと思います。（いろいろな機会を捉えて児童の情操を豊かに育んでまいります）

◎小中の運動会を合同にしてほしいです。（小学校の運動会は、5・6年生のリーダー性

を養うという目的を重視しているため、現時点では合同開催は考えておりません)

◎質問内容が返答に困る。授業やタブレット等保護者はほとんど見れていない。先生に対しての質問事項をもっと増やして欲しい。(今年度は、学校・学年だよりやホームページ等で学校の活動を紹介する機会が少なかったことを反省しております。次年度では様々な機会を利用して学校の活動を幅広く紹介してまいります)

◎オープンスクールの際に授業の進行を妨げる(静かにできない)生徒が数人いて、いつも の事だとしたら勉強が大幅に遅れないか心配になりました。席を前列にするなどの対応も検討してもらえたとと思いました。(いただいたご意見は学級経営に生かしてまいります)

◎学校の様子は保護者では答えにくいものが多いです。大した話ではないですが、先生間でのささいな考え方の違いによった声かけが、子どもにとって戸惑うものにならないようお願いします。(学校職員は共通理解のもと児童の指導にあたっております。学校の指導で疑問に思われる点については遠慮なくご相談ください)

- 我が子も同様ですが、挨拶のできる子が少ないように思います。(学校・保護者・地域が共通理解のもと挨拶の大切さを浸透させていきます)
- 校外学習や宿泊の時の連絡メールが極端に少ないように感じた。特に宿泊の時は、活動が円滑に進められているのか、無事に過ごせているのかの連絡はこまめに知らせてほしかった。(必要なお知らせについてはメール等で配信していきます)
- 家庭学習がおろそかになってきています。自己学習するものですが、ある程度は癖付ができるように学校でもプリントを配るとか提出するとかの方法をとったほうがいいのではないかでしょうか?(ご家庭のご理解とご協力を得ながら家庭学習の充実を目指していきます)
- 毎月のがんばりカードの必要性を感じられない。(毎月の頑張りカードについては、児童の自主性を養う目的のもと、家庭での学習状況を把握するため実施しています。実効性があるようにするために、ご家庭のご理解とご協力も必要です。お子様の頑張りをご家庭でも励ましていただけますと助かります)
- テスト中心のマルバツや採点での学習評価(偏差値至上主義)は時代遅れだと思う。運動や芸術に関する教科も『できるかできないか』『うまいかうまくないか』の評価だけでは、健やかな心は育たないと思う。これから日本人は日本国内だけでは生活できない可能性が高いと思うので、外国語教育にはもっと力を入れて欲しい。ルクセンブルクの外国語教育は日本でも見習うべきところがあると思う。(文部科学省が定めた学習指導要領のねらいを学校職員がよく理解し、本校の教育の充実を目指します)
- 担任教師が、子供達とお友達感覚なので担任をバカにしている様に感じます。(学校職員としてけじめある態度で児童に接してまいります)
- 先生により学習スピードが違いすぎる。
- 隣のクラスとの授業の進みの差が気になる。(各学年の授業進度や学習内容について確認しています。学級間で大きな差は生じておりません)
- 小学校に通うようになってから、先生に対して失望と猜疑心を持つようになりました。叱る=怒鳴る、理不尽だと思ってしまっているので、先生に言ったら叱られると思い発言出来なくて悩んでいることもあります。
- 先生によって言うことが違うようで、よく困っています。(本校職員には、共通理解のもと、適切に児童への指導や接し方をするように指導しております。何か不適切な指導や接し方がありましたら学校へご相談ください)
- アンケートの回答者確認用 URL がわかりづらく、兄弟姉妹がいるのでそれぞれの子どもについて回答したいのに、2人目を回答しようとすると【すでに回答済み】と表示される。(※下記『学校より』をご参照ください)
- Google フォームにより回答者が特定できるアンケートには改善が必要ではないでしょうか?(※下記『学校より』をご参照ください)
『学校より』Google フォームを活用した学校評価のためのアンケートについて
今回の保護者アンケートの回答率は前年度 97.0% から 76.5% に下がってしまいました。低下した理由と考えられることを以下2点述べさせていただきます。
1、アンケート形式の変更の周知が不徹底だったこと
　　今年度、小学校では、従来の紙による学校評価アンケートから、Google フォームを

活用したWeb回答に変更しました。変更したねらいは、職員の業務改善の視点で、紙よりもWeb回答のほうが集計を格段に効率的にできる点、及び、自由記述のとりまとめがしやすくなるという点から変更しました。

配信したGoogleフォームのアンケートは、学年ごとの回答率の集計をまとめたため、どなたが回答したか確認するためQRのコードと学校評価をするためのアンケートを回答してもらうためのQRコードを2種類配信しました。ところが一部の保護者には回答した内容が学校側に知られてしまうという誤解を生じさせてしまいました。実際、回答用のアンケートは別に配信されているので、どの保護者がどんな回答をしたか、学校側は一切知ることはできません。次年度は、回答方法についてよく周知した上で行いたいと考えております。

2、学校側がGoogleフォームの設定に不慣れであったこと

当初、Googleフォームの設定が、兄弟姉妹がいる家庭の場合、1家庭1回答に制限されていました。数件の保護者からご指摘を受け、途中から、設定を変更し、お詫びのメールの配信をしましたが、全保護者のご理解を得ることができなかつたと考えております。

今回の反省をもとに、次年度はこのようなことがないようにいたします。いただいたご要望ご意見は、真摯に受け止め、今後の学校経営に生かしてまいります。今後も、本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。